



新工SPH通信

VOL.38

新潟県立新潟工業高等学校

SPH推進委員会

平成29年12月25日

Community cooperation

平成29年12月20日（水）電気科1年生を対象に、地域の電気工事関連業界の現場で活躍する技術者と交流し、電設業界が担う具体的内容を知るとともに、仕事で必要とされる技術および活用の方法を学び、専門分野への関心・意欲を深めるために電気工事工業組合青年部の皆様に講師に交流会を実施しました。



【交流会の内容】

- 1限目は、照明やコンセントを取付ける内線工事、建柱や屋外配線を行う外線工事、音響・通信・テレビなどの弱電工事、火災報知器などの消防設備工事、また他には、自動制御設備工事、高圧受電設備工事、エアコン等空調機設備設置工事、土木工事、コンクリート打設工事などの多種多様な分野についての紹介。
- 2限目は、現場で活躍している専門職の方々による家屋の壁や天井に照明器具、コンセント、スイッチ等を施工する屋内配線工事の実演を現場で実際に監督している方の解説付きで間近での見学。
- 3限目は、1グループ9名の班別で8グループに分かれ、「電設業界の仕事」、「資格の取得」をテーマに業界青年部の方々がファシリテータとなってグループに加わってワークショップを行い、生徒たちと活発な情報交換ができました。

【生徒の感想（スキルアップシートより）】

- 今まででは電気工事士のイメージがつかめていなかったが、今回の交流会で実際に働いている人に質問したり作業をしている姿を見ることができたので電気工事士業もなかなか良い就職先として考えることができた。
- 今回の交流会で電気工事と言ってもいろいろな種類があること、また他の業種とも協力することがあることを知り将来の職業選びに生かせると思った。

【生徒の変容と身についた力（スキルアップシートより）】

- 現場で活躍する技術者と交流したことにより、電気工事士になったらどんなことができるのかわかった。
- 電気科で学ぶ学習内容を生かせる電気工事士について知り、将来進路先の一つとして考えることができた。
- 実演で実際の工事を間近で見て今後の実習授業で作業を行う時の参考になり、今後生かしていけると思った。
- 作業をする際は、安全確認と危険予測（KY）確認をしっかりと行いたい。
- 資格の価値を知り高校生のうちに資格を取り、将来自分もお客様から感謝されるようになりたい。